

とのおの 議会だより

No.45

2016.4

こんなに大きくなりました！

3月25日、鱒沢幼稚園保育所では、卒園式を終えた園児や地域の方々が見守る中、今年卒園する4人の園児によって「遠野市立鱒沢幼稚園、保育所」の看板が取り外されました。宮守町の3つの幼稚園保育所は4月から、社会福祉法人遠野市保育協会に運営が移管されます。

「子どもたちのありのままの姿や気づき、思いに寄り添う保育」3つの幼保が目指した保育の形。遠野の豊かな自然に囲まれ、温かい見守りの中で育まれた自主性と創造性。園児たちは、大きな郷土の宝となるでしょう。



主な内容 3月定例会

- ◆28年度新規・目玉事業……………2~3P
- ◆定例会の概要……………4P
- ◆1月、3月臨時会審議結果等……………5P
- ◆3月定例会議案審議結果……………6P
- ◆議会の動き・市民の声……………7P
- ◆市民と議会との「懇談会」告知……………8P
- ◆放射能汚染対策調査特別委員会報告…9P
- ◆市政調査会報告……………10P
- ◆議会運営委員会報告……………11P
- ◆研修視察レポート……………12~13P
- ◆予算等審査特別委員会質疑……………14~16P
- ◆一般質問 9人が登壇……………17~25P
- ◆私のひとこと、編集後記……………26P

予算の概要

28年度の新規事業をピックアップして紹介します。

遠野スタイル スタートダッシュ!! 予算



4,257万円

新規
遠野ローカルベンチャー事業費
都市に住む若手人材が起業型地域おこし協力隊として活動し、地域活性化を目指す。移住・定住から六次産業化、雇用創出、中心市街地活性化に挑戦するための予算。

850万円

新規
宮守銀河住宅整備事業費
宮守町の中心市街地再生に向けた取り組みのひとつ。

1,082万円

新規
子育て応援宣言のまち推進事業費
ファミリー・サポートセンター設置に伴い、各地域であずかり保育をする会員の養成や、その環境を整えるアドバイザーの養成、また、出会い、結婚、出産、子育ての一連の流れを地域づくりの一つとして位置づけ、子育てを支えるための助成等、地域が子育てを応援する事業。

3,578万円

新規
地域の元気応援事業費
昭和45年の岩手国体を契機に形づくられてきた地域コミュニティ。平成28年度は現在の9地区体制の地区センターを11地区に拡大し、地域に身近な活動支援拠点として強化に取り組む。また、住民主体のまちづくりを目指し、地域住民が十分な話し合いができるよう地区センターの強化に取り組む。

3,677万円

新規
肉用牛増産対策推進事業費
遠野生まれ遠野育ちの「いわて遠野牛」のブランド確立に向け、各種支援を行う。

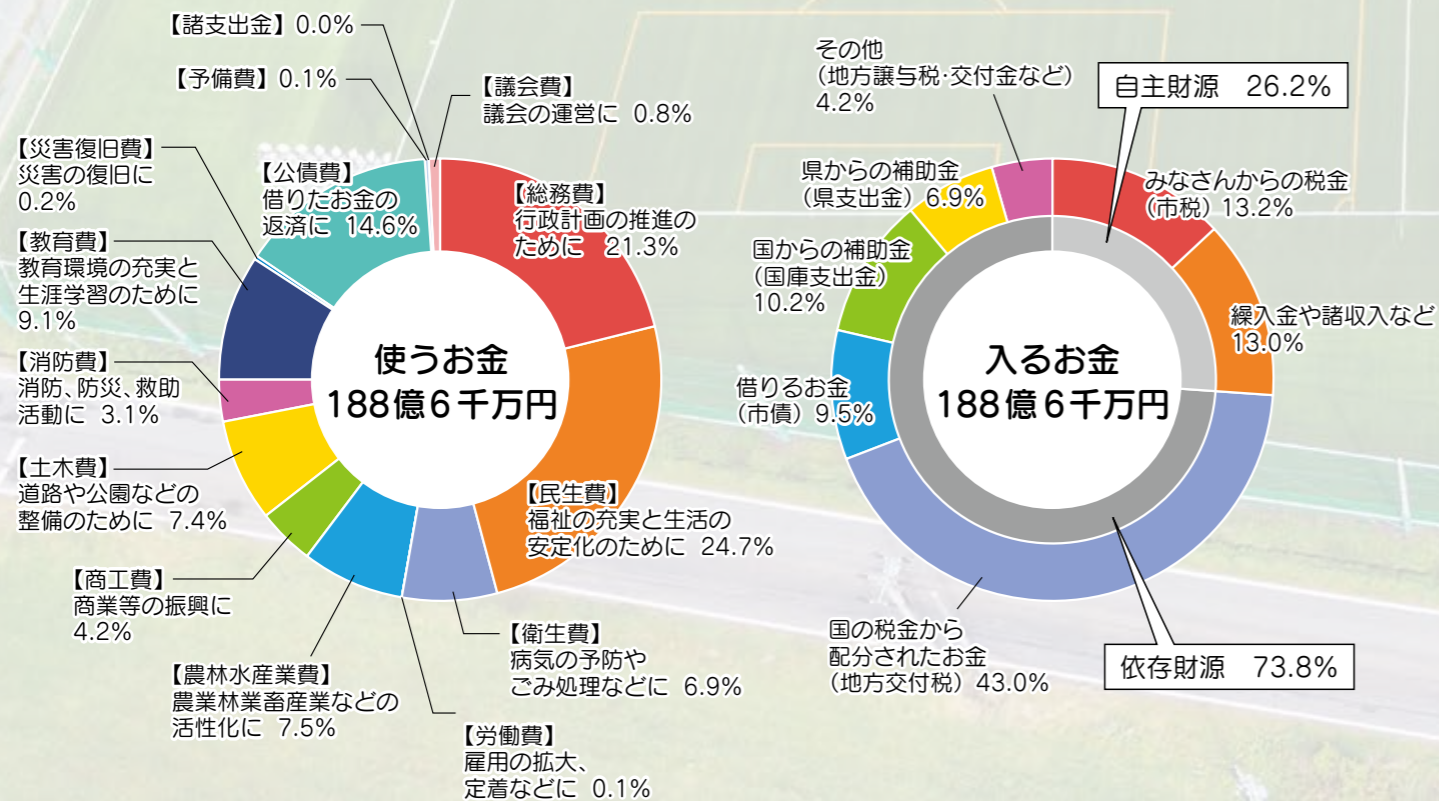
300万円

新規
特定教科集中対策事業費
市内3中学校に学習支援員を一人ずつ派遣し、定着度の低い数学に特化した学力向上対策に取り組む。

1億1,710万円

新規
岩手国体運営事業費
平成28年10月に開催される「希望郷いわて国体サッカー競技少年男子」の開催運営費。

グラフで見る平成28年度一般会計予算



再編案に対し、3月9日に遠野市、遠野市議会、遠野市、遠野市議会の連名で県知事、県議会、県教委に2校存続を求め、要望書を提出。3月29日発表の再編計画では、平成32年度の統合の時期は、平成30年度までの入学率を見極めて判断する」と一定の判断が示された。

◆発議案第2号
 新たな県立高等学校再編計画案に対する遠野市内2校の県立高等学校存続を求める意見書の提出について
 遠野緑峰高等学校は地域に根ざした「農と商の融合」の高校として、遠野高等学校は「修徳尚武」の校訓に則った人材の育成に取り組んでおり、県教委が示した高校再編計画案による2校の統合・校舎制では、両校の特色を生かすことができない。地域の子どもの将来を見据えた多様な幅広い視野に立った進路希望に添えるように2校の存続を要望するため、意見書を提出しようとするものである。

◆発議案第3号
 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書の提出について
 軽度外傷性脳損傷はわゆる脳しんとうについて、受傷や様々な症状の発症、更には重篤化の危険性とその予防及び適切な処置等が周知されていない。学校現場やスポーツ競技などにおいて、万が一受傷・発症した際の適切な判断処置と予後の相談可能な窓口の設置を求める意見書を提出しようとするものである。

平成28年度市議会定例会年間予定				
	28年6月	28年9月	28年12月	29年3月
本会議(開会)	6月10日	9月2日	12月2日	2月24日
本会議(一般質問)	13~14日	5~6日	5~6日	27~28日
決算特別委員会		7~9日 12日		
予算等審査特別委員会	15~16日	13~14日	7~8日	1~3日 6~9日
本会議(最終日)	17日	15日	9日	10日

定例会の本会議及び特別委員会の開催時刻は、午前10時を予定しています。ただし、最終日の本会議の開催時刻は、午後2時となります。
 ※上記は予定であり、議会の会期は、その都度会期毎に正式に決定されますので、変更があった際はご了承ください。



◆ 1月臨時会議案審議結果 ◆

平成28年1月臨時会が1月19日に開催されました。

議案名	審議結果
議案第1号 遠野市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	承認
議案第2号 遠野市本庁舎建設工事の請負契約の締結について	全員賛成
議案第3号 公の施設の指定管理者の指定について (とおの物語の館、遠野城下町資料館)	全員賛成
議案第4号 平成27年度遠野市一般会計補正予算(第5号)	全員賛成

◆ 3月臨時会議案審議結果 ◆

平成28年3月臨時会が3月29日に開催されました。

議案名	審議結果
議案第42号 平成27年度遠野市一般会計補正予算(第7号)	全員賛成
議案第43号 副市長の選任につき同意を求めることについて (飛内 雅之氏)	同意
議案第44号 教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて (中浜 艶子氏)	同意
議案第45号 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて (菊池 崇氏)	同意
議案第46号 監査委員の選任につき同意を求めることについて (佐々木 資光氏)	同意

3月定例会の議案審議結果は次ページになります。



平成28年3月定例会が2月26日に招集され、3月11日までの15日間の会期で開かれました。今定例会では、市長の施政方針演説及び教育委員長の教育行政推進基本方針演説があり、一般質問には9人の議員が登壇し、市政を問いました。
 提案された条例16件、平成28年度一般会計予算ほか16件、その他5件の全37議案を原案のとおり承認、可決しました。最終日には、発議案3件を可決しました。

議員発議

今定例会では、3件の議員発議案(意見書3件)が提出されました。

意見書

◆発議案第1号
 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書の提出について

児童虐待により幼い命が奪われる深刻な事態が続いている。児童虐待の相談対応件数は増加の一途をたどり、複雑・困難なケースも増加している。こうした現状に鑑み、政府は昨年、「児童虐待防止対策強化プロジェクト」を策定した。政府は、同プロジェクトの施策の方向性を踏まえ、児童虐待発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応、自立支援に至るまでの一連の対策強化のため、関連する各種施策について速やかに実施するよう強く要望する。

◆ 3月定例会議案審議結果 ◆

Table with columns: 議案名, 審議結果. Lists 41 items including budget amendments, ordinance changes, and committee reports.

議会の動き(1~3月)

Calendar-style table showing council activities from Jan 1 to Mar 31. Includes dates and descriptions of events like meetings, reports, and ceremonies.

市民の声 (Voice of Citizens) section. Includes a header, a main text box, and three speech bubbles with photos and text from citizens.



再ラップ前の汚染牧草

59名いた生産者のうち、16名（調査日現在）は出荷が一部解除となり、今後増えていく見込みである。委員からは、ホダ木の保管状

況が安全に保たれているのかの確認がなされた。畜産振興課からは、汚染牧草の処理で、清養園での焼却処理が終了し、残った牧草の再ラップ事業と保管状況が報告された。

放射能汚染対策調査特別委員会（委員長：菊池充議員）は、1月22日に本年度第3回の委員会をあすもあ遠野で開催し、関係課からの説明を受けた。調査項目は大きく2点で、農畜林業における放射能対策の状況と今後の方向性、東京電力（株）への損害賠償請求状況についてであった。

放射能汚染による市における被害の賠償請求は、東京電力から原子力損害賠償紛争解決センターでの和解決に移行しており、2700万円ほどが合意に至っているが、請求に対する割合は26・5%にとどまっている。いまだ認められない多く



西部保管施設の様子（宮守町）

【調査日】平成28年1月22日
【研修箇所】あすもあ遠野
【参加議員】12名

放射能汚染対策と原発被害賠償請求を調査 第3回放射能汚染対策調査特別委員会

の額は、県、他市町村とも足並みをそろえ、先行する県の合意内容などにならう、代表案件先行方式をとっている。引き続き、より多くが賠償されるよう取り組むことが説明された。

平成28年度 市民と議会との「懇談会」を開催します。

市民の「声」を議会に反映します。ぜひご参加下さい!!

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越し下さい。

- ◆主な内容◆ ◇3月定例会報告 ◇H27「懇談会」の要望等への対応 ◇地域課題の意見交換

◆開催日時および場所◆

開催日	開催時間	会場	班編成
4月26日(火)	午後6時30分～8時	上郷地区センター大広間	第1班
	午後7時～8時30分	土淵地区センター和室	第2班
	午後7時～8時30分	あえりあ遠野2階こぶし	第3班
4月27日(水)	午後7時～8時30分	松崎地区センター会議室	第1班
	午後7時～8時30分	青笹地区センター和室	第2班
	午後7時～8時30分	附馬牛地区センター和室	第3班
4月28日(木)	午後7時～8時30分	綾織地区センター大広間	第1班
	午後7時～8時30分	小友地区センター和室	第2班
	午後7時～8時30分	みやもりホールべごっこホール	第3班

※ 上郷町は他の会場より30分早い開催となりますので、ご注意ください。

◆担当班の編成◆

第1班	第2班	第3班
小林 立栄 瀧本 孝一	菊池 美也 菊池 由紀夫	萩野 幸弘 多田 勉
照井 文雄 瀧澤 征幸	菊池 巳喜男 荒川 栄悦	佐々木大三郎 菊池 充
多田 誠一 安部 重幸	細川 幸男 浅沼 幸雄	小松 大成 新田 勝晃

「市民と議会との懇談会」について

- ① 年1回、開催されています。
- ② 市民の皆様の声を常任委員会で調査・研究！
常任委員会で1年間かけて調査研究し、政策提言につなげていきます。なお、緊急性の高い事項については、翌年度の予算編成に反映されるよう、随時政策提言していきます。
- ③ 関係機関・団体との懇談会の実施！
常任委員会での調査・研究においては、関係機関・団体の皆さんとの懇談会を実施し、より多くの市民の皆様の声をお聴かせいただくよう取り組みます。



遠野ふるさと公社と 木質チップボイラーについて

市政調査会

【調査日】
平成28年1月8日
【調査・研修箇所】
あすもあ遠野
水光園
【参加議員】
17名



水光園のボイラー室内の様子

「遠野ふるさと公社の取り組み状況と改善計画」及び「水光園木質チップボイラー」についての状況調査を行った。

ふるさと公社から、菊池昌弘常務理事と菊池義之事務局長が参加し、今までの業績、業務内容、指定管理者制度及び管理料の推移等の説明、経営改革3か年計画や各施設の今後の取り組み、進捗状況、収支見込等が示され、議員からは「文化的な施設と営業施設を分けて管理をしたほうが良いのでは」「本当に黒字経営にできるのか」など指摘があった。

これに対して、ふるさと公社の理事からは、6項目の社訓のもと経営改革に取り組み姿勢が示され、「地域経済の活性化と市民福祉の増進に努めたい」という決意が語られた。今後ふるさと公

社の経営改善が進むことを願うものである。その後、バスで水光園に向かい、「木質バイオマスエネルギーを活用した、モデル地域づくり推進事業」について、遠野バイオエナジー株式会社社長の梶山氏から説明を受けた。

本事業は、近年大量に発生している木工団地等のパルク（木皮）やチップ、林地残材をエネルギーに変え、バイオマス利用で地球貢献（CO₂削減）に資する内容である。

今までは重油のみで対応していたが、このチップボイラーが稼働してからは重油の購入量が大幅に減少し、今後の燃料費の削減が期待される。

この取り組みは、燃料の供給・消費とも、地域の「ゴミが宝になる」など良いことが多いが、議員からは「市



チップサイロの説明を受ける

民からの林地残材の買い取りがあるのか」「植木の剪定枝の受け入れ」など今後の取り組みについて多くの質問があった。市としては、将来的には民間からの買い入れを検討している。

は、木質バイオマスエネルギーを普及推進するには、市民の理解と協力が欠かせないと感じた。

会津若松市議会の議会改革について

議会運営委員会

【調査日】
平成28年
2月4日～5日
【調査・研修箇所】
福島県南相馬市
福島県会津若松市

【参加議員】
瀧澤 征幸
新田 勝見
安部 重幸
瀧本 孝一
菊池 美也



会津若松市議会での研修風景

研修テーマである議会改革について、「市民との懇談会及び議員間討議」の2点に絞って研修を受けた。

議会の政策形成には①市民懇談会②政策討論③広聴広報の3つの取り組みを十分活用することが大切とのことであった。

市民懇談会等では、地区特有の課題とかテーマが明確になり、同時に、より市民に密着した情報の共有が可能となり、課題の解決に向かうことができるのである。その開催にあたっては、事前にその地区の課題を調査・把握しておくことが何より重要とのことであった。議会側からの発言は全体の20%以内にとどめ、あとは市民からの意見や要望をいただくようにしているという。当市議会の懇談会でも、この考えを生かしたい。

また、政策討論においては、学識経験者を入れての研修と先進地視察は極めて有効である。討論にあたっては、議員の所属する常任委員会等の区分に関係なく平等な立場で勉強会のように行うことが肝心とのことであった。

広聴広報について、行政施策を風呂敷にたとえて説明を受けた。市民の目線から、風呂敷に穴はあいていないか、しわはないか、風呂敷の大きさやデザインはふさわしいかを、市民への広聴広報活動の中から見極めるということである。したがって、情報を伝達する「広報」だけでなく、市民の意見を聴き取る「広聴」の部分を実践させていくことが大事となる。

議員間討議については、議会開催中はもちろん、必要により議会開催期間外でも行って

いる。従来の市当局の説明に対する質疑だけでは、議決に至る説明責任を議員個々が十分に果たすことができないという考え方が必要が生じている。議員間討議においては、全体としてどこまで合意点を見出し、合意に至らない場合には争点として残った部分も明確にしておくことが大事であるとのことであった。

これらの研修を受けて、当市議会においても、将来は広聴広報常任委員会に懇談会の企画運営ができるよう望むものであるが、その環境整備や条件整備が必要となってくると思われる。

大変参考になる研修であった。

【その他の研修事項】
南相馬市沿岸部の復旧工事の状況を視察



2月5日研修後に会津若松市役所前にて



水槽毎の試験内容の説明を受ける

海のない長野県では、信州サーモンと大王イワナが、地産地消と地場産業の振興、ブランド化による地域おこしのためにとの熱い思いで取り組まれていく。信州に来てまで海のマグロではない。一般的なアユ、ヤマメ、ウグイ、ワカサギの増殖事業に加え、刺身にして美味しい大型高級魚、丈夫で飼いやすい魚がほしいとの願いから、10年をかけて開発された。平成16年から稚魚の供給を開始し、平成26年度には42戸の専業漁家が330tを出荷している。

試験場の説明資料では、試験場で開発したニジマスに、ヨーロッパ原産のサケ科の淡水魚、ブラウントラウトをバイオテクノロジー技術で交配し、誕生したのが信州サーモンである。全てメスであるが、成熟しないため、産卵をせずに3年間成長し続け、従来のニジマスの倍以上の大きさまで成長することである。

大王イワナの改良については、宮城県が実用化した技術をベースに、基本的に同じ方法を取り入れ、2年で技術を確立し供給している。成魚を取り扱う飲食店は、現在県内外で509店舗が登録されている。

猿ヶ石川のアユの奇形について伺ったところ、短矩症（たんくしよ）とのこと。人工種苗魚で多く見られる症状で、対策としては孵化（ふか）後の餌にEM菌を添加した飼料を給与することも一つであるが、完全ではなく、稚魚の購入の際に病歴カードの添付を義務付けることも必要とのことである。

その他に、傷を負った魚体については、病



水産試験場で内水面漁業等の説明を受ける

【調査日】平成28年2月17、18日
【調査・研修箇所】長野県安曇野市 長野県水産試験場 有限会社大王農場

【議員】多田 勉 瀧澤 征幸 萩野 幸弘 新田 勝見 菊池 由紀夫 多田 誠一 石羽根キヤトルセン

長野県における内水面漁業について 躍進とおの・遠野一新会合同会派

原菌による冷水病で、特にも友釣りの種アユが菌を持っていくと、寄ってきたアユに感染し病根が顕著に表れる。しかし、具体的対策は確立されていないとのことである。

長野県の水産試験場が長い時間をかけ、取り組み、実現した成果

【その他の研修事項】大王わさび農場における100年のわさび栽培について

は、しっかりと地域に根ざし、産業として確立していることを実感した。



市営堆肥センターのストックヤード

大野平キヤトルセンターは平成26年4月より周年受け入れ施設として供用開始され、現在哺育・育成（月齢0〜9ヶ月）300頭規模に対して46頭、繁殖（10ヶ月以上）100頭規模に対して117頭が預託管理されていた。

哺育舎はセンサー管理による人口哺乳施設が整備され、温度管理施設も充実している。最適な環境にも関わらず、利用頭数が少ないのは利用料金（一日600円）なのか、PR不足なのか、畜産農家と関係機関との利用に向けた話し合いが求められる。

繁殖については、受け入れ規模を上回っており、今後も増加することが予想されるのであれば、他の施設も含めた利用計画の見直しが必要ではないか。

石羽根キヤトルセンターは、平成27年10月より越冬受け入れ施設として供用開始された。現在は受け入れして間もないため300頭規模に対して41頭が預託管理されている。

除染作業が終了し、越冬粗飼料生産が本格化するの、28年度からとなることから、キヤトルセンター間の利用調整も念頭に置きながら預託頭数の増頭にに向けた取り組みが課題となる。

市営堆肥センターの昨年度実績は、受け入れの原料堆肥が3300tで、製品として2800tの販売となっている。今年度も同じ位の数量の見込みであるが、製品化した堆肥のストックヤードが満杯となっており、原料堆肥の受け入れをストップしている。原因は、販売堆肥の主流であるバラ堆肥の出荷時期が4月から6月に集中す



環境整備部からの聞き取り状況

【調査日】平成28年2月9日
【調査・研修箇所】大野平キヤトルセンター 石羽根キヤトルセンター 市営堆肥センター

【議員】菊池 充 多田 勉 照井 文雄 荒川 栄悦 細川 幸男 多田 誠一

施設の利用実態と今後の耕畜連携について 産業建設常任委員会

するため、年間を通しての生産が出来ない状況にあるとのことであった。

市がJAと進める一億円販売園芸団地構想や低コスト生産、環境保全対策等耕畜連携強化には、周年の受け入れ体制のためのストックヤードの増設が急務となっており、財政面での課題はあるが、トータル的な判断の中からは第2次総合計画の前期基本計画での早期実施が求められていると感じた。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会(議長を除く17人の議員で構成、委員長は菊池由紀夫議員、副委員長は佐々木大三郎議員)は、条例16件、予算16件、その他5件について付託を受け、審議を行いました。今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全37議案が原案のとおり可決されました。



各高校で使用されている選挙に関する副読本

問 遠野市被災者住宅再建支援事業補助金について、計画以上の申請があった場合の対応は、

答 そのような事態が生じた場合は補正予算で対応する。

問 遠野に避難している方が、住みたくて安心して日

18歳選挙権への対応について

問 模擬投票等、選挙啓発への取り組みは、

答 市内の高校では、国から配布されている副読本・副教材を使いながら啓発授業を行っている。模擬投票

東日本震災による被災者支援について

問 遠野市被災者住宅再建支援事業補助金について、計画以上の申請があった場合の対応は、

答 そのような事態が生じた場合は補正予算で対応する。

れている。労働安全衛生委員会では、労働安全衛生委員会でいただいた意見を参考にしながら、メリハリのあたる仕事の仕方それぞれを考えていくように毎月の委員会でも検討していきたい。

新有権者となる社会人への対応は、

答 各事業所に協力ををお願いしたり、チラシの作成や遠野テレビを活用しての啓発に取り組みたい。

休講中の幼児こぼの教室について

問 休講している幼児こぼの教室の再開の目的は、

答 4月からの再開に向け準備を進めている。

問 こぼの教室は、不安を抱いている父兄・家族や、友達と同じように話せるようになりたいと努力している子どもたちの心より、休みの間、保護者には密に連絡を入れていたか。

答 再開の目的が、再開の連絡をしたと考えていたが時間を要してしまった。保護者には心配を与えるなど配慮が足りなかったと認識している。

地区センター改修工事について

問 改修工事の内容は、

答 達旨部多目的集会所施設内に地区センター事務所の設置工事等を行うものである。

問 施設内のどの部分に事務室を設けるか。

答 施設の中の倉庫を増築して事務所とした。

問 倉庫が無くなったから、どうするのか。

答 この集会所施設と保育所幼稚園の間に児童クラブの事務所を造り、今の児童クラブ事務所を地区センター事務所との声もあるが聞いている。

問 費用面の事も考慮して、正面玄関に

日常生活を過ごせるよう対応が必要であると考えるが。

答 災害公営住宅を建設したい旨、県に要望をしている。家賃の減額補助等も含め検討したい。

遠野風の丘機能充実整備事業費について

問 平成27年9月の定例会に予算計上したが今回減額になったのはなぜか。

答 遠野IC開通による交通量影響調査によると、国道283号線の車の通行量は40%減、風の丘への入場車台数は20%減、利用者数は変わりなく売り上げはほぼ同じだった、トイレのみの利用者が減ったという結果であった。

問 このことから、今後も調査をする必要がある、今回は最小限の整備とした。

答 今後の駐車場整備の方向性は、国、県とハード、ソフト部会を立ち上げ、全体的に考えて28年度中には結論を出したい。大型車2台分を増設し、出入口を2車線に改善するなど、ゴールデンウィークの結果を見て考えていく。

地区センター改修工事について

問 改修工事の内容は、

答 達旨部多目的集会所施設内に地区センター事務所の設置工事等を行うものである。

問 施設内のどの部分に事務室を設けるか。

答 施設の中の倉庫を増築して事務所とした。

問 倉庫が無くなったから、どうするのか。

答 この集会所施設と保育所幼稚園の間に児童クラブの事務所を造り、今の児童クラブ事務所を地区センター事務所との声もあるが聞いている。

問 費用面の事も考慮して、正面玄関に

遠野市のいじめ問題調査委員会条例の制定について

問 市内学校のいじめの現状は、

答 重大事態は無いが、いじめに関しては2月末現在、小学校72件、中学校37件のべ109件あり、内容は、からかい・悪口・冷やかしなどとなっている。

問 いじめの重大事態の定義と判断基準は、

答 重大事態は無いが、いじめに関しては2月末現在、小学校72件、中学校37件のべ109件あり、内容は、からかい・悪口・冷やかしなどとなっている。

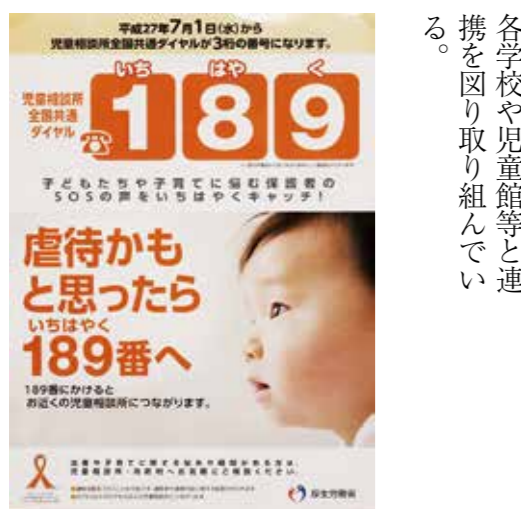
遠野市のいじめ問題調査委員会条例の制定について

問 市内学校のいじめの現状は、

答 重大事態は無いが、いじめに関しては2月末現在、小学校72件、中学校37件のべ109件あり、内容は、からかい・悪口・冷やかしなどとなっている。

問 いじめの重大事態の定義と判断基準は、

答 重大事態は無いが、いじめに関しては2月末現在、小学校72件、中学校37件のべ109件あり、内容は、からかい・悪口・冷やかしなどとなっている。



3月末で閉所になった達旨部診療所

児童虐待防止の取り組みについて

問 児童虐待の対応窓口と取り組みは、

答 子育て総合支援センターを窓口とし、助産院、健康福祉の里、各学校や児童館等と連携を図り取り組んでいる。

児童虐待防止の取り組みについて

問 児童虐待防止の取り組み強化を、

答 関係スタッフや地域の見守りで、気づいたことがあれば、すぐに相談することを浸透させながら、未然防止、早期対応に取り組む。

児童虐待防止の取り組みについて

問 児童虐待防止の取り組み強化を、

答 関係スタッフや地域の見守りで、気づいたことがあれば、すぐに相談することを浸透させながら、未然防止、早期対応に取り組む。

児童虐待防止の取り組みについて

問 児童虐待防止の取り組み強化を、

答 関係スタッフや地域の見守りで、気づいたことがあれば、すぐに相談することを浸透させながら、未然防止、早期対応に取り組む。

職員の休暇取得状況と今後の取り組みについて

問 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

答 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

職員の休暇取得状況と今後の取り組みについて

問 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

答 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

職員の休暇取得状況と今後の取り組みについて

問 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

答 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

職員の休暇取得状況と今後の取り組みについて

問 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

答 職員の年次休暇の取得状況と今後の取り組みは、

児童の生命・心身・財産に重大な被害が生じた疑いがあるときと定義し、事実関係を明確にするため、この第三者委員会での調査を行う。

問 定期的なチェック体制が必要と思われるが、

答 未然防止に関わって様々な取り組みを行い、早期発見、いじめの把握、疑わしい事案を学校が把握した時点で、教育委員会に報告し、対応するシステムを構築している。教育委員会独自のアンケート調査を行い、早期発見にも努めている。

問 また、遠野市いじめ防止対策委員会を設置して未然防止や対応ができるよう総合的に取り組んでいる。

児童の生命・心身・財産に重大な被害が生じた疑いがあるときと定義し、事実関係を明確にするため、この第三者委員会での調査を行う。

問 定期的なチェック体制が必要と思われるが、

答 未然防止に関わって様々な取り組みを行い、早期発見、いじめの把握、疑わしい事案を学校が把握した時点で、教育委員会に報告し、対応するシステムを構築している。教育委員会独自のアンケート調査を行い、早期発見にも努めている。

問 また、遠野市いじめ防止対策委員会を設置して未然防止や対応ができるよう総合的に取り組んでいる。

労働安全衛生委員会の取組

問 労働安全衛生委員会の取組は、

答 効率的な事務の推進を図りながら、上司が率先して休暇を取得したり、休暇を取りやすい雰囲気づくりをすることなど議論がなされているが、

労働安全衛生委員会の取組

問 労働安全衛生委員会の取組は、

答 効率的な事務の推進を図りながら、上司が率先して休暇を取得したり、休暇を取りやすい雰囲気づくりをすることなど議論がなされているが、

育児休業・休業の取得状況

問 育児休業対象者は、27年度において17人いたが実際取得したのは4人で、女性のみである。休業においては、子どもの病気等は育児休業ではなく年次休暇を利用して取得していると考えている。

問 育児休業・休業の実現をめざしたい。

答 育児休業対象者は、27年度において17人いたが実際取得したのは4人で、女性のみである。休業においては、子どもの病気等は育児休業ではなく年次休暇を利用して取得していると考えている。

市政を問う

(文責本人)



浅沼 幸雄 議員
(政和クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

- 第2次進化まちづくり検証委員会からの最終提言をどのように市政に活かすのか
- 岩手国体において遠野らしいおもてなしのために重点的に取り組むことは何か。

遠野西中学校の取り組みを広げては

問 遠野西中では、今年度生徒会が「いじめ撲滅プロジェクト」を立ち上げて取り組みを行ってきた。その一環として、「メッセージビデオ」に取り組んだ。それは、悪口やからか

答 遠野西中では、今年度生徒会が「いじめ撲滅プロジェクト」を立ち上げて取り組みを行ってきた。その一環として、「メッセージビデオ」に取り組んだ。それは、悪口やからか

「全国いじめ問題 子供サミット」の詳細は

問 本年1月23日遠野西中の3名の生徒が文部科学省で開催された「全国いじめ問題子供サミット」に参加した旨の新聞報道があったが、その詳細は。

答 岩手県教委では、遠野西中の生徒主体の取り組みについて注目し、「全国いじめ問題子供サミット」の県代表にと推薦を頂き東京で発表を行ってきた。遠野西中では、このサミットに参加後、2月8日に学校で報告会を行い、その際には、

いなど、いじめの芽を見逃さないようにしていくためのメッセージを生徒一人一人が考え、画用紙に書き、そのメッセージを掲げてビデオに録画したものである。



遠野西中学校の昇降口に掲示されているメッセージビデオの画用紙

問 遠野西中の取り組みを市内の他の学校にも広めていってはどうか。

答 昨年12月に施行された「遠野市いじめ防止等基本方針」に基づき、去る2月19日に、第1回目の「遠野市いじめ防止等対策委員会」が開催され、その席上で遠野西中より全国サミットと、後日学校で開催された報告会について報告を頂いた。委員からは、「この取り組みをぜひ他の中学校へ広げていきたい」との意見が多く、市内の3中学校の生徒会で組織している「遠野市中学校生徒会連絡協議会」が中心となって、取り組みを広げていく方針が確認されたところである。

問 のがあるのではないのか。

答 地域の受診者が困らない方策は、どのようか。他への通院の足の確保が先決と考えている。今後検討したい。

問 がその件についてはどうか。

答 10万円以上のストロブを購入する場合には対象になる。消費税、経費等を差し引いた金額に10分の1を乗じて、最高額10万円を商品券で助成するものである。

新ストロブ購入助成の内容について

問 快適薪ストロブ購入助成について内容を伺う。

答 新エネルギービジョン推進事業のひとつで、市民が薪ストロブを購入する場合には10万円を助成するものである。



問 ストロブ代金のみでなく、煙突や工事費等もかかると思う。

問 平成29年度遠野市で開催される全国わさび生産者大会に対する、市の考えと取り組み体制はどうなっているのか。遠野市が開催地として手を挙げ、全国の生産者にそれを認めてもらった。開催地としてもつと重みを持つ取り組みは、

答 実行委員会を立ち上げたが、関係機関団体と協議しながら来年度の予算編成を組み立てたい。開催



達首部のわさび田

問 時期は平成29年秋の開催を予定している。平成元年に旧宮守村で開催してから約30年ぶりの岩手県開催となる。遠野市の知名度による経済効果を期待し、市民総出で迎えられよう取り組みたい。

問 わさびに限らず、観光など広い意味で体制を整えるべきでその取り組みに遅い感がある。

答 観光や宿泊等の手配も必要になることから、実行委員会を6月には示せるようにしたい。

問 緑峰高校を巻き込むなど、高校生の力を生かしては。

答 産学官を取り入れたあり方等を検討したい。

誇り高いラッパ隊員の負担軽減対策を

問 消防ラッパ隊の課題はないか。

答 昨年、大府市に24名が遠征しているが、合併当初45名だった隊員が、平成27年4月1日35名、現在は30名となっており、非常に厳しい課題である。

問 市民にとってラッパ隊は誇りある存在である。隊員減少によって隊員個々の負担が高くなっているのでは。遠征前の練習も連日の努力を重ねている。負担になる活動でなく、それだけの思いに配慮した負担軽減を考えるべきでは。

答 練習などの負担も大きいと思っっている。ラッパ隊員と話し合いながら隊員数を増やすなど、負担が軽減できるような継続して取り組む。



消防団員募集ポスター

問 2月中旬の体験入学の際、学用品の購入に困難をきたす保護者が出てこないような仕組みづくりを求めたい。

答 この事業は義務教育課程のものであり、あくまでも小学生をもつ保護者が対象となる。

問 経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るもの。新年度開始後4月7月、8月12月、13月の3期毎に当該保護者が申請し、その額に基づいて支給がなされる。

問 就学前とすれば、子育て支援の枠での対応が考えられる。就学支援というよりはむしろ子育て支援という観点から検討する。



小松 大成 議員 (無会派)

一括質問方式

【その他の質問】

○安部首相の憲法改正発言に対する市長の見解について

県立高校再編計画に
対する市長の見解を伺う

問.....

昨年12月寝耳に水のごとく高校再編計画が新聞報道された。遠野市では遠野緑峰高校の閉校が大きな関心事となっている。再編計画の理念として「岩手を担う自立した社会人の育成」としているが、「岩手を担う自立した社会人の育成」との崇高な理念とは裏腹に、「遠野市における自立した社会人の育成とは何か」との私の問いに

県教育委員会は明確に答えることはなかった。理念なき数合わせの再編計画と言わざるを得ない。遠野市としてのこの問題にどのように対応するのか、市長の見解を伺う。

答.....

市内における県立高校2校の存続は多くの市民の総意として受け止めている。来る3月6日に開催される「高校再編を考える市民シンポジウム」が開催さ

れると聞いており、そこでも出された意見をもとに岩手県・県議会・県教育委員会に遠野市としての意見を届ける。



各分野で活躍の目立つ県立遠野緑峰高校

TPP大筋合意・調印に対する
市長の見解について

問.....

2月4日ニューヨークでTPP協定の調印が行われた。マスコミ報道も、もはやTPP協定は決着したかの報道が流されている。さらに、TPP協定の多くの部分が不明であるにも関わらず、政府は、影響はそれほどないといった宣伝をしている。今でも市内農家と農業者の減少に歯止めがかからない状況下でTPP協定が発効した場合、甚大な影響を及ぼすと考えられるが市長の見解は。

答.....

TPP協定については、交渉にあたっての詳細の情報が得られない中で、合意は問題がおおきいとして反対の考えを表してきた。遠野市においても畜産、特に肉牛への影響は大きいものと想定される。国には説明責任を果たすとともに、しっかりと対策を講ずることを求める。



菊池 美也 議員 (政和クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】

○宿泊地として魅力向上を目指す考えは。○魅力ある専門高校とは何か。魅力ある普通高校とは何か。

観光推進計画について

市街地観光の振興は、
遠野を活性化させる

問.....

宿場町・城下町として栄えた街場の空洞化は遠野の活力低下を招く。観光推進計画の対策構想の一つであり、市街地活性化の一助となる「市街地観光の再構築」をどう考えるか。

答.....

遊させるかが課題。第二次中心市街地活性化基本計画は、市民と観光客に愛され、各世代が安心して楽しく回遊するまちづくりを目指す。また、ICT(情報通信技術)を活用し、WiFi環境の整備に着手する。

問.....

観光推進協議会は、観光推進計画の早期目標達成に向け課題に取り組む組織として示されたが、東日本大震災の発災で協議は分断された。平成26年度に観光関係機関・団体が設立した「マーケティング

答.....

店街や団体との連携不足について報告された。関係機関のまとめ役である「遠野市観光推進協議会」の活動状況を伺う。

委員会」の来訪者の実態・市場環境の調査報告でも、今後の取組みとして「連携をサポートする機能や人材育成」の必要性が挙げられた。平成28年度中に観光推進計画を再策定し、短期・中期計画、組織の見直しを図る。

※WiFi(ワイファイ)環境とは。パソコンが無線でインターネットに繋がる環境。

みんなで、市内の高校の
在り方を考えよう！



200名が参加した、「高校再編を考える市民シンポジウム」両校を存続させるために、努力する余地はまだある。

問.....

県立高等学校再編計画(案)により市内一高校となった場合の影響は。

答.....

校舎制は、授業では教員が、行事・部活等では生徒が校舎間を移動する。生徒が緑峰高校の志望を敬遠しない

か、委縮しないか、一体感が醸成できるかという心配がある。課題が多く、生徒・教員に負担がかかる制度と捉える。また、これまで同様に地元産業界を支える人材を輩出できるのか、地域の衰退に繋がらないかなど与える影響は大きい。



細川 幸男 議員
(無会派)

一括質問方式

二宮金次郎の生涯学習について現場の課題は

問.....

ある晴天の日、市内の古き友達と出合い、道端会話の中で、「遠野には河童像は見かけるが、自分たち子どもの頃から尊敬させられた、二宮金次郎像はどこに行つたか」等などの昔話を語り合い別れた。その後、偶然にも小学校の授業に、二宮金次郎を取り入れることを知り、詳しく調べると、昨今は、親に手伝える親孝行まで、子

答.....

どもの虐待とか忍従、児童労働を肯定的な意見や、二宮金次郎の生涯を道徳教育に取り入れるのではなく、子ども同士で多様な角度から考える教材として、勤勉の象徴とする意見等、賛否両論が述べられていた。二宮金次郎像はどこに、二宮金次郎の生涯学習について、現場の課題は無いのか尋ねる。

答.....

二宮金次郎の設置校は、青笹小学校、達曾部小学校、上郷小学校の3校にある。道徳教育の現状、平成30年度から「特別な教科、道徳」として位置づけられ、その重要性は高まっている。二宮金次郎のお話は、小学校1、2年生対象の副読本の中にあり、夢に向けて努力を重ねた金次郎の姿を通して、自分で決めた目標を達成したり

することを考えさせ、自分で決めたことは成し遂げようとする態度を育てる教材として市内の各学校でもこの副読本はもちろん、その他の副読本を活用したり、ボランティア活動や体験活動を生かしたり、児童生徒が感動を覚えるような魅力ある教材を開発、活用したりするなど様々な工夫をしている。さらに道徳教育は、道徳の時間以外に全ての教育活動の中で行われ、市内の学校は十分に意識し、学習でも、道徳活動指導なども、道徳性の育成を目指して取り組んでいる。



遠野遺産に認定されている鹿込集会所の二宮金次郎像



小林 立栄 議員
(無会派)

一問一答方式

【その他の質問】

- 食品ロス削減に向けた食育について
- 発達障害の早期発見と適切な対応について
- 教育と福祉の連携について

食品ロス削減を

問.....

日本全国で年間1、700万トンの食品廃棄物が排出され、食べられるのに廃棄されている「食品ロス」は約500〜800万トンもある。3010運動(宴会時、乾杯の後の30分間と閉会前の10分間は料理を楽しむ)や持ち帰り運動による食べ残しの削減、買い物する際の注意点や保存方法、フードバンク事業等の情報提供による意識啓発が必要と考えるが。

答.....

遠野市一般廃棄物処理基本計画を策定し、市民一人1日当たりのごみ排出量を毎年1%削減することとした。ごみ減量のためには、市民・事業者・行政の3者が、3Rの取り組みをすることが大切である。食品ロスを少しでも減らそうという取り組みは、考えても良いのではないか。



<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycl>
食品ロス削減国民運動のロゴマーク 愛称は「ろすのん」

障がい者支援の総合的な推進について

問.....

ライフステージに応じた切れ目のない支援と、各段階に応じた福祉、介護、医療、教育等の連携の充実による、一人一人を大事にした支援施策の取り組みは。

答.....

地域自立支援協議会、地域支援部会、就労支援部会、子ども支援部会、きめ細かい、切れ目のない対応を組み立てていきたい。

問.....

就労支援施設に対して、商品開発や生産技術、販路開拓について専門家による人的支援を図り、また、施設の商品や請け負える作業内容等の情報発信をして、利用者の工賃の向上と職種が増加するよう取り組むべきです。就労支援施設と市役所との連携、農業分野との連携も重要だと考えるが。

答.....

市も望むことであるが、困難さを感じる部分もある。商品等の情報発信の在り方について検討を進めたい。地域自立支援協議会による、市内の就労支援施設の取り組みの検証を行うとともに、就労継続支援事業所と連携しながら、障がいの程度にあった働く場や職種、働き方など、きめ細かく丁寧に対応していきたい。



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)

一括質問方式

【その他の質問】

○「子育てするなら遠野の定義と支援策について」

自主財源確保の 多様な取り組み姿勢は

問.....

国の借金が一千兆円を超え、厳しさが増す財政状況の中で、健全財政計画との整合性を図りながら努力している姿勢は一定の評価をする。

答.....

国は「企業版ふるさと納税」制度の仕組み作りを進め、それに合わせた対応を目指し調査を進めている。返礼品付きふるさと納税は、6次産業との連携を含め「遠野らしさ」にこだわり、納税という基本スタンスを崩すことなく見直しを図ることが出来るかどうか、検討を進めている。第3次健全財政5ヶ

姿勢や考えは。

年計画の中で、①税負担の公平性確保と収納率向上を目的とする「市税等収納対策プロジェクト」の推進、②3年に一度の使用料・手数料の見直し、③遊休地の積極的な貸付けや売却、④市有林立木の計画的な売却などを積極的に取り組んでいる。

選挙権18歳以上改正で 若者への対応は

問.....

公職選挙法が改正・施行されることにより、20歳以上だった選挙の投票権が18歳以上に引下げられ、未成年者への参政権が与えられることになった。この改正に伴う若年層への啓蒙・啓発や、投票率向上への取り組みについて選挙管理委員会の対応は。

答.....

若者の投票率の低さは全国的に大きな課題である。本市の平成25年7月や平成26年12月の国政選挙では、20代は90代を除いて30%台と最も低い。選挙管理委員会は、これまでの啓発活動に



若者よ 選挙に行こう

加え、高等学校に対して明るい選挙啓発授業のお知らせと、選挙時の投票の呼びかけや期日前投票の方法等を記載したチラシの配布をお願いした。新たに選挙権を得るのは学生以外もおり、市の商工観光課とも連携を図りながら、企業への働きかけや「勤労青少年のつどい」など、様々な機会を捉えて啓発を行っていききたい。



日本の未来と自分の将来を
しっかり考えよう

松くい虫対策とアカマツの 利用拡大を

問.....

松くい虫被害の更なる拡大が懸念される。今までの対策の成果と実態はどのように推移しているのか。

答.....

市内でも東へ拡大している。発生量は年々増加し、平成26年度で959立方メートルとなっている。松くい虫被害対策地区実施計画を策定して駆除などを実施している。今までの駆除防除に加え、アカマツ林を伐採して別

の樹種転換事業に取り組んでいる。

被害先端地域を中心に対策を講じているが、発生する被害量が多くの状況である。

問.....

樹種転換には林家の経済的負担が伴うと思うが、負担軽減のためにも被害を受ける前のアカマツの活用を考慮すべきでは。遠野市の集成材は高く評価されている。木工団地を核とした新たな森林資源の活用に向けた取り組みが必要ではないか。

答.....

植栽や保育作業に投資してきたため、被害に遭う前に伐採し用材として使用されるのが望ましい。木工団地の機能を生かした活用を検討したい。活用できない材は木質バイオマスエネルギーに利用していく。

森林認証の取得を

問.....

森林認証制度の需要が見込まれ、木材の活用を優先するなどのメリットがある。市有林も含めた市の林業政策にどう受け止めるのか。

答.....

新国立競技場では、森林認証を受けた木材を使用すると表明された。認証木材に対する

意識が高まることを想定した認証木材として考えていかなければならない。認証制度には、木を育てる山づくりに対する川上側と、伐った木材を加工する川下側がある。県内でも自治体や民間企業が取得しており、その面積は32,156ヘクタールになっている。

取得によって、後世まで続く持続可能な森林経営が可能になり、認証木材の需要が高まると供給元になることができる。また、環境に配慮した森林経営を対外的にPRできる点などがある。遠野市としても森林認証の取得へ向けて検討していきたい。



木工団地内の工場



多田 勉 議員
(躍進とおの)

一問一答方式

【その他の質問】

○観光施策に対する民間力を含めた取り組み体制の確立を

観光施策に対する民間力 を含めた取り組み体制の 確立を

新国立競技場では、森林認証を受けた木材を使用すると表明された。認証木材に対する



菊池 巳喜男 議員 (市民クラブ)

一問一答方式

【その他の質問】
○環太平洋連携協定(TPP) 関連施策について

障害者差別解消法の 展望と課題について

問.....

この4月から障害者差別解消法と改正障害者雇用促進法の施行に伴い、障がい者施策にどのように取り組むのか。

答.....

障害者差別解消法では「障がいがある」という理由だけで「不当な差別的取り扱い」を受けたり、「障がいの状態に応じた合理的配慮をしない」ことを差

別としている。例えば、「車椅子だからといって店に入れないなど、障がいのない人と違う扱いをする事」などの行為が差別となる。遠野市としては、「障がい」を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を4月から施行し、職員に周知のうえ、差別解消に取り組むこととしている。

い者が職場で働くにあたっての支障を改善するための措置を定めていることから、障害者差別解消法と併せて、法の趣旨を市民、事業者に広報誌を通じて周知を図っていく。

問.....

マイナンバー制度の導入により市民生活にどのような影響があるのか。

答.....

昨年11月から通知カードを市内全世帯に送付開始し、ほぼ全て送

マイナンバー制度 利用開始と 今後の取り組みについて

個人番号カードには、プライバシー性の高い個人情報は記録されません。



個人番号カード(ICチップ)には、プライバシー性の高い個人情報が記録されているので、カードを盗まれたり落としたりしたときに情報が漏れるのではないかと心配。



個人番号カード(ICチップ)に、プライバシー性の高い個人情報は記録されない。

- 個人番号カード(ICチップ)に記録されるのは、①券面記載事項(氏名、住所、生年月日、性別、個人番号、本人の写真等)、②総務省令で定める事項(公的個人認証に係る『電子証明書』等)、③市町村が条例で定めた事項等、に限られる。
- 『地方税関係情報』や『年金給付関係情報』等の特定個人情報は記録されない。



万一、紛失・盗難にあった場合には、24時間365日コールセンターで対応します。

進むマイナンバーカードのセキュリティ対策



菊池 充 議員 (遠野一新会)

一問一答方式

景観資源の保全と 再生可能エネルギー対策について

問.....

市が推進しようとしている再生可能エネルギーについて、どのようなエネルギー資源を想定しているのか、また推進のための支援策について伺う。

答.....

平成26年11月に策定したビジョンで10分野のエネルギーを位置づけており、実現性や重要性が高く、さらに波及効果が期待される取組をリーディングプロジェクトと位置付け、

エネルギー施策による地域活性化を実現したいと考えている。支援策については、平成28年度から、スマートエコライフ推進事業として一般家庭への太陽光発電施設、家庭用蓄電池設備導入費助成、新エネルギービジョン推進事業として薪ストーブ導入費助成を予定している。

豊かな景観資源を保全するため、全ての発電事業を把握し、適切な場所に誘導する必要があり、条例で事業面積3000㎡以上を届け出の対象としており、行政だけの判断ではなく、より多くの市民の意見を反映させるため、4月に条例に基づき審議会を設置したい。

問.....

ドイツ企業が計画するメガソーラー事業に対する対応方針について伺う。

答.....

先日の記者懇談会で

も発言したように、市としては、①大規模な事業であり、遠野の景観を損ねる②国の太陽光発電の方針が定まっていない③建設予定地が牧野であり、本市の基幹産業である畜産業に影響を与える。以上の理由により、受け入れられないという方針に変わりはない。

問.....

計画が予定されているメガソーラー施設の農地活用による営農型計画についての対応について農業委員会会長に伺う。

答.....

計画されている、発電用パネルの設置面積は約1000ha、内農地面積は600ha程度と聞いており、これだけの規模の農地法申請は、国内には例がない案件とされている。主に牧場で公共牧場も含まれ、第一種農地であり原則転用は許可できないことになっており、農地転用申請があった場合には、市当局は勿論のこと、岩手県や岩手県農業会議、当然国からの指導を仰ぎ、判断しなければない案件と慮している。



寺沢牧場の美しい景観

農地の適正管理対策への 取り組みについて

わたしの ひとこと



三國 都輝さん
(青笹町)

薬科系専門学校を卒業後、ドラッグストアに勤めて一年が経ちます。接客販売に携わっていることに自分自身が驚いています。学生時分には進路相談を何度重ねても、将来の具体的な自分の姿を思い描くことはできませんでした。社会人になった今も、「明確な目標があるのか?」自問自答してみると、自信をもつてつなぐことはできません。

続けなければならない。私は資格取得のため、勉強を始めました。皆さんもそれぞれのライフステージにおいて、将来の姿を見つめ直してみませんか?

兄弟の中で遠野に居るのは私だけ。職場や野球やいろいろな場面で、大好きな遠野を盛り上げます。

このコーナーは、市民の皆様のみちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

この議会だよりの中に答えがあるので、最初から最後まで読んでみてください

とおの 議会だより クイズ

○欄に適切な言葉を入れてください。

その① 遠野市平成 28 年度一般会計予算総額は ○○○億 6,000 万円。

その② 遠野市会場で行われる「希望郷いわて国体サッカー競技少年男子」は今年の○月開催。

その③ 平成 28 年度市民と議会との懇談会の上郷地区センター会場は、○時から○時まで。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券 1,000 円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》〒028-0392 遠野市宮守町下宮守 29-77 遠野市議会事務局 宛

メールでも応募できます!! gikai@city.tono.iwate.jp

《しめきり》平成 28 年 5 月 31 日 (当日消印有効)

～議会だより44号クイズの答え～
その① 第2次/その② 2項目/その③ 16日

編集後記

遠野スタイルスタートダッシュ予算総額188億6千万円が、全会一致で可決、まったなしの市政がスタート!桜のつぼみも、大きく膨らみ待望の春、新庁舎建設も本格化、遠野まちなか再生に向けてもスタートダッシュです。

市内の小学校にも真新しいランドセルに身をつつみ、可愛い新一年生が通学する季節となりました。元気で健康に成長を願うところでもあります。健康といえは、歯がいのちとも言、口腔を大切に保つことが、健康に繋がるとのこと、歯と唇の間にを入れて顔の表情筋を鍛える「Mパタカラ」での健康法が話題となっています。いびきや肩こり、頭痛、便秘、肌荒れ、認知症予防、顔のたるみなどさまざまな症状改善・効果が期待されます。

このエクササイズは、続けてやるのが求められ、継続はチカラなりと言われますが、新年度、あなたも挑戦してみたいかがでしょうか。

(巳喜男)

【広聴広報常任委員】				
委員長	菊池	巳喜男		
副委員長	小林	立栄		
委員	菊池	池立		
委員	照井	文雄		
委員	多田	美也		
委員	菊池	勉也		

議会への提言をお待ちしております

